

事業番号	09 05 04	事業改善シート (28年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農村地域整備基礎調査事業			担当課	部局	農政部	
					課・局・室	農地整備課	
					E-mail	nochi@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト			実施期間	S41 ~		
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産					
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針	3-3 活力と循環の信州経済の創出					
	施策展開	3-(1) 経済構造の転換 ア 県内産業の競争力強化 ウ 農業の競争力強化					

## 1 事業の概要

目指す姿	農業農村整備事業の実施状況及び実績等を一元的に把握し、事業の効率的かつ効果的な実施に資する。 「第7次長野県土地改良長期計画」における期間内整備目標 (H25~H29) ・水田整備面積及び整備率(区画20a以上) 28,939ha:53.1% (H25) ⇒ 29,091ha:54.9% (H29)											
現状 (予算編成時)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国は、農業農村整備事業の実績等に関する詳細な情報を把握するため、県に委託事業として委任している。</li> <li>調査の成果は、国のみならず県においても有用な資料として活用可能である。</li> </ul>											
県が関与する理由	県関与の必要性あり	【左記の説明、根拠法令等】 農業基盤整備基礎調査実施要領 等										
	県民との協働による実施：実施は困難											
成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)											
	農業基盤情報基礎調査箇所数 130箇所 (年間の基盤整備実施箇所数として、前年実績並みの目標を設定) 農業水利基本調査箇所数 3箇所 (菅平ダム、沢山池、美和ダム) 経済効果測定基準調査箇所数 資料収集 1式											
	② 事業内容 (単位:千円)											
		項目	実施方法	H28事業実績		H28		H29				
					(当初)	(決算)	(当初)					
	農業基盤情報基礎調査	直接 (受託)	農地や農業用水利施設等の整備状況を把握するための調査 (197箇所)		1,000	409	1,000					
	農業水利基本調査	直接 (受託)	農業用水の渇水対策に資するため、定期的にダムの貯水量を国に報告 (4箇所)		300	180	300					
	経済効果測定基準調査	直接 (受託)	農業農村整備事業の経済効果算定に必要な基礎諸元の検討に必要な基礎資料の収集 (国調査未実施)		200	0	200					
			合計		1,500	589	1,500					
事業コスト	区分 (単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越	0	0	0	項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	1,500	1,500	1,500				目標	成果	達成状況	
		補正予算	-480	-720								
		合計(A)	1,020	780	1,500							
	Aの財源	一般財源	0	0	0	農業基盤情報基礎調査	120箇所	130箇所	130箇所	197箇所	達成	130箇所
		県債	0	0	0	農業水利基本調査	4箇所	4箇所	3箇所	4箇所	達成	3箇所
		国庫支出金	1,020	780	1,500	経済効果測定基準調査	—	資料収集 1式	資料収集 1式	未実施	—	資料収集 1式
		その他	0	0	0							
	ト	決算額(B)	699	589								
概算人件費	職員数(人)	0.10	0.10	0.15								
	概算人件費(C)	828	791	1,187								
	概算事業費(B(A)+C)	1,527	1,380	2,687								
目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「農業基盤情報基礎調査」及び「農業水利基本調査」は、国からの調査委託を受けて実施したが、「経済効果測定基準調査」は、国の調査実施がH29年度以降へ見送られたことにより実施していない。</li> <li>「農業基盤情報基礎調査」については、新規調査対象箇所の増加により、197箇所について調査を実施し、目標を達成した。</li> <li>「農業水利基本調査」については、4箇所のダムに関する調査を行い、目標を達成した。</li> </ul>											

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	農業基盤情報基礎調査等は、農業用排水路や農道など農業生産基盤施設の整備状況等を把握するための重要な調査であることから、次年度以降についても国からの委託を受けて実施する必要がある。